

霧訪山（きりとう山）登山

2014.3.10 S氏と

生憎天候は良くないのですが、運動不足解消を兼ねて相棒宅とほぼ中間点の霧訪山（1305M、塩尻市）に登りました。私は20年位前に登りましたが、相棒は初めてとの事。

登山口 9:35~10:20 避難小屋 10:25~11:00 山頂 11:30~12:39 駐車場
(総走行 99KM 自宅出発 8:00、昼食し帰宅 15:00。)

昨夜からの降雪もあり、登山口駐車場までの狭い雪道をやっとの思いで進む。すでに1台駐車あり、今朝人の登った足跡もある。天気が悪い冬の平日だと言うのに、やっぱり人気の里山である。県下のみで無く中京圏や首都圏からの登山者も多い山です。理由は手頃なのと、山頂からの展望が良い事（3つのアルプスが展望できる）、地元の整備などの努力だと思います。登山道脇は全て赤松林で松茸の入札地なので、両側にはテープは勿論、立ち入り禁止の立札・警告文が立ち並んでいます。信州の里山にはこんな場所が結構あり、秋に登山する時は注意が必要です。（私は某山登山の際に松茸採りと間違われて、車のタイヤをパンクさせられた事がありました）又この山は登山道がジグザクに付けられていないので、ほぼ一直線に山頂目指しての登山道なので、とても急な坂が多いです。

登山口



松茸山です



登山口からすぐ200段位の階段状の登りです。積雪は20~50CM。新雪が5~10CM。スノーシューはザックに付けて歩く。相棒は最初から10本爪アイゼンを着用している。登山道は凍結をしているし、急坂。私はとうとう根性で登山靴だけで山頂まで頑張った。途中にある地元の山岳会が作った避難小屋付近で60歳代の単独行が下ってきました。よほどの山好きだと思います。（又は良くいる、特定の山を毎日のように登るマニア？）山頂からの展望は近くだけ。此处には地元ではチゴチゴ（稚児稚児）と呼ぶ「オキナグサ」の群生があります。立派な方位盤も設置されています。

止め山です



山城跡



避難小屋



山頂です



晴れていれば



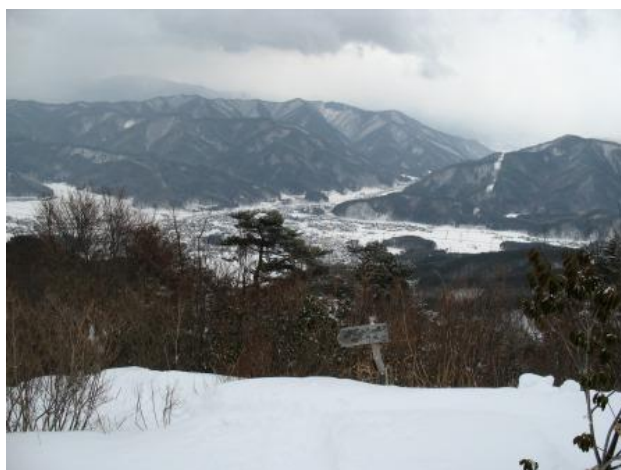
日本の中心地・分水嶺



展望が



残念です



駐車場とトイレ



日本海・太平洋に分かれる分水嶺、日本のヘソとも言われる山です。今回は一般的なR. 153、JR小野駅からの登山道ですが、「山の神自然園」からの登山道もありますし、そちらの方が山野草は多いとの事です。風が無いので気温の割に寒さは感じなかったのも、立ったまま30分間山頂にいました。下山は勿論、軽アイゼンを着用しました。帰路寄った食堂は小奇麗で安価で美味しかったです。「おいちゃん家」名です。(お

じさんと言う方言だと推測) イワナ・ニジマスなどを飼っているのも、その場で焼いてくれます。500円と安価でした。次回は3/24 諏訪付近の里山に登ろうと約束して解散しました。彼が就職して、月曜日休みなので。